

授業改善推進プラン

【英語科】

学年	現状の課題	指導の重点と改善策 ※求められる力【短期と中・長期】
1 学 年	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の文字と音が結びつかず、単語の読み方が身につかない生徒がいる。 ・英語を言うことができても、書くことができない生徒が多い。 ・基本的な文法事項が理解できていない生徒や、理解していても問題を解くときに正しく知識を活用できない生徒が多い。 	<p>【短期】 文字と音を意識した指導を行う。小テストを実施し、特に書く力を意識させる。</p> <p>【中・長期】 実際に英語を使う場面をイメージさせることで学習意欲を高める。授業内容とリンクした家庭学習を定着させる。</p>
2 学 年	<ul style="list-style-type: none"> ・理解することはできるが、学習したことを正確に使って表現する力が弱い。 ・1つひとつの学習項目は理解していても、いくつかの項目が混ざるとわからなくなってしまう生徒が多い。 	<p>【短期】 音読、暗唱、復習小テスト、口頭作文などの小さな学習活動を積み重ねていく。</p> <p>【中・長期】 英語を使う場面を多く提供していく。家庭学習の内容を具体的に指示し、継続する習慣を身に着けさせる。</p>
3 学 年	<ul style="list-style-type: none"> ① 1,2年次の既習文法事項の未定着が見られる。 ② 表現の能力のうち、特に「書くこと」が苦手な生徒が多い。 	<p>【短期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 毎時の授業中に復習項目として繰り返しの活動を行い、定着を図っていく。 ② 単元の中で、継続的に自己表現も含めた「書く」活動を行い、生徒へのフィードバックも確実にやっていく。 <p>【中・長期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の中での目標（ねらい）を明確に設定し、毎時にそれを達成するようやっていく。